



空まで届け

中里こども園児が「鯉のぼり揚げ」

中里こども園児25人が、4月14日(金)町特産物加工販売施設「ピュア」駐車場で鯉のぼりを揚げました。子どもたちは風であおられながらも鯉のぼりをロープにくくりつけました。鯉のぼりが空に飛ぶように子どもたちは大きな声で応援していました。この日は風が強く、鯉のぼりは子どもたちの元気を受け取ったように泳いでいました。子どもたちは「お父さん、お母さんにも見せたい」と自分でくくりつけた鯉のぼりを見上げて満足そうに笑っていました。

鯉のぼりは、住民から使わなくなったものを譲り受けたもので、来場客に楽しんでもらおうと4年前からピュア駐車場に掲げています。鯉のぼりは5月いっぱいまで飾るそうです。

大清掃できれいな砂浜に

小泊海岸を守る会の清掃ボランティア

小泊海岸を守る会(齋勝建設(株)、宝森建設工業(株)、島村産業(株)、(株)竹内組、(株)青南商事、(株)環境工学)が、4月22日(土)マリパーク、折腰内海岸、冬季閉鎖が解除された竜泊ラインなどで清掃ボランティア活動を行いました。

この日は約180人が参加し、先日の低気圧による暴風で海岸に打ち寄せたものや道路脇のゴミを片づけました。清掃箇所は、海水浴場でもあり、夏まつりやビーチサッカーが行われ、多くの観光客が訪れる場所です。作業終了後の昼食会では、同会に所属する6社に感謝状が贈られました。作業に参加した人は「低気圧で風が強い日が続いたので、流木などがあり大変だった。捨てられるゴミは少なくなっているので続けていきたい」と話していました。



交通ルールを守って渡ろう

町内街頭監視

新入学(園)児の交通事故防止運動が、4月10日(月)~14日(金)まで、町内の交通量の多い危険箇所5か所で行われました。

今年も学校の先生をはじめ、保護者、警察関係者など地域のみなさんが登校時間に立って、安全に登校できるように見守っていました。学校に向かう子どもたちに「おはよう。気を付けてね」と声を掛けると、子どもたちからは元気な挨拶が返ってきていました。



社会福祉事業に役立てて欲しい

中泊ライオンズクラブが寄附

中泊ライオンズクラブ(会長・桑村知)が4月6日(木)、社会福祉協議会(会長・秋元良一)に寄附金を手渡しました。

桑村会長が「食糧支援などの社会福祉事業に役立てて欲しい」と話すと、秋元会長は「ありがとうございます。地域福祉推進のため、当会の事業に有効に活用させていただきます」と感謝の言葉を伝えました。

